

消防団長紹介

大阪狭山市消防団 団長 尾崎 豊春

本市は日本最古のため池である狭山池に代表される豊かな水と、北条氏盛が初代藩主となり狭山藩が立藩された古い歴史・文化が息づくまちです。

市の花は「つつじ」で、自然を愛する心を育て、豊かな情操と連帯感をつちかうために、緑に囲まれた美しいまちにふさわしい花として市の花に選ばれました。市の木は「さくら」で、市内にも狭山池遊歩道や住宅街の並木、鉄道線路の土手、公園墓地周辺などに名所があります。

本市消防団は、昭和26年4月 町制施行して狭山町となり、消防団を再編成、1団10分団をもって狭山町消防団が誕生しました。昭和62年10月、市制施行にともない大阪狭山市消防団となりました。平成25年には女性分団を発足。現在9名の女性消防団員を含め、計104名の消防団員が活動しています。

火災や風水害等における様々な災害出場をはじめ、全団員対象に年間を通じて普通救命講習や各種訓練を実施し、団員のスキルアップを図っています。また、各地区住民へ団員による訓練指導等を行い、地域防災力の向上に尽力しています。

私自身は、昭和58年10月に入団後、平成13年に副分団長、平成16年に分団長を歴任、平成26年には副団長、平成31年4月からは団長に就任しました。

消防団活動で特に思い出として残っているのは、平成18年、大阪狭山市消防団が大阪府を代表して、ポンプ車操法の部で全国大会へ出場したことです。

近年、就業構造の変化、少子高齢化社会の進展、国民意識の変容等、社会環境の変化に伴い、消防団を取り巻く環境も大きく変化し、団員確保等の様々な課題があり、地域防災力の低下が懸念されている状況です。

しかし、最も重要なことは、市民の皆様一人ひとりが『自分達のまちは自分達で守る』という意識を持っていただくことです。

『市民が一生安心して安全に暮らせるまちづくり』は、市民の皆様のご協力なしでは達成できません。

我々消防団も「郷土愛護の精神」のもと、消防団員としての誇りを持って地域のために活動していきたいと考えております。